

# 四国医療工学専門学校

## 学校新聞 6月号

学校の行事や魅力を毎月お届けします！

頑張る学生紹介	1
調剤事務管理士技能認定試験・医科医療事務管理士技能認定試験	2
「医の倫理」の授業	2
臨床実習	3
医療体験講座	3

NICE

### 頑張る学生をご紹介します！

## 北村 美羽さん

医療情報学科 2年

高知県立高知丸の内高等学校 出身



北村さんは、毎朝元気にバイク通学をしており、普段の授業終わりの清掃も、とても頑張って行ってくれています。

姉妹で医療の道を歩む北村さんに、いくつかの質問をしてみました！

### Q & A

#### Q1 医療事務を志したきっかけは？

姉が医療関係の仕事をしており、私も人を助ける仕事に就きたいと思ったことがきっかけです。

#### Q2 本校に進学を決めた理由は？

他の学校と比べてたくさんの資格が取得できることと、姉も通っていた学校なので、馴染みがあったことが大きいです。

#### Q3 好きな授業は？

コンピュータ演習の授業です。高校の時に情報処理の授業でExcelを学んでいて、その時の内容を活かして検定などを取得できるので好きです。

#### Q4 趣味・特技は何ですか？

お菓子を作るのが趣味です。休みの日に姉と一緒にストレス発散で作っています。最近パン作りにも挑戦しています。卵アレルギーの方向けのケーキなど、様々なものを試しています。

#### Q5 学校生活はhowですか？

友達と教え合いながら、楽しく授業を受けています。たまに眠たくなる時もありますが（笑）

#### Q6 本校の良いところは？

先生と学生の距離が近く、分からないことがあった時にすぐに質問ができることです。

#### Q7 アルバイトはしていますか？

喫茶店で働いています。高齢のお客が多いので、はっきりした言葉遣いや気遣いをきちんとするよう心掛けています。医療事務の仕事でも活かすことができそうです。

#### Q8 これからの目標は？

残りの検定を合格できるよう勉強に励みたいと思います。

#### Q9 高校生に向けて一言

興味がある学校をいくつか自分であげて、オープンキャンパスに行って、実際に自分の目で見て進路を決めたほうが良いと思います。

#### Q10 掃除を頑張っている理由は？

家でもしているので当たり前だと思っています。実習の時も最後は掃除をしないといけないので、活かせていると思います。

5/25、5/26

医療情報学科

## 調剤事務管理士技能認定試験 医科医療事務管理士技能認定試験

5月25日、医療情報学科2年生が調剤事務管理士技能認定試験を受験しました。

調剤事務管理士は保険調剤薬局で多忙な薬剤師をサポートし、医師が交付した処方箋の受付や会計、保険請求分のレセプト作成など、事務全般を担当します。患者様に対する接遇力とともに処方箋の内容をきちんと理解し、調剤に要した費用を計算する知識とレセプト作成のスキルが求められます。実際に受験した学生からは、「時間は十分にあったのでまあまあできました。」「焦らず問題を解いたらできました。」などの声が聞かれました。

5月26日、医療情報学科2年生が医科医療事務管理士技能認定試験を受験しました。

医療事務管理士は日本初の医療事務の資格として誕生しました。そのうち病院やクリニックなどで働くための資格が医科医療事務管理士です。

医療事務に必要とされる医療保険制度の知識があり、診療報酬の仕組みを理解し、レセプトを作成できるだけのスキルがある、医療事務のスペシャリストとしての能力があることを証明する資格です。受験した学生からは、「難しかったけれど、過去問からの出題がほとんどでした。」「後輩の皆さんが受ける時は、過去問を中心に勉強してください。」と先輩としてのアドバイスもしてくれました。

(記者：広報部赤嶺)



臨床工学学科

## 『医の倫理』 の授業を取材しました！

今回、取材したのは、臨床工学学科1年生の授業『医の倫理』で本校専任教員の永野先生が担当しています。『倫理』とは、ものごとの善悪や正しさを判断するための基準・根拠になるものです。学生たちが志す臨床工学技士にとっても、倫理は医療現場に出た時に大きく関わってきます。

今回のテーマは『個人情報』です。まず個人情報に対する国際的な原則であるOECD 8原則が紹介され、日本においても個人情報保護法が制定され、医療現場にも様々な個人情報があることが紹介されました。

そして、4～5人のグループになって具体的な個人情報保護について話し合うことになりました。例えば、『本人から病歴等の要配慮個人情報を聞き取る場合、別途、その取得について本人の同意を取らなければならないか。』というものがありました。学生らの話し合いを聞いてみると、「いやと思う。一人ひとりに確認していたら時間がない。」「時間がかかるけどいいと思う。」など、様々な意見に分かれていました。議論の後、グループの意見をホワイトボードに書き込む際には、最後は多数決を取ったりしながら難題に取り組んでいました。その後、永野先生から、「患者が医療機関の受付等で、問診票に患者自身の身体状況や病状などを記載し、保険証とともに受診を申し出るとは、患者自身が自己の要配慮個人情報を含めた個人情報を医療機関等に取得されることを前提としていると考えられるため、患者の当該行為をもって、当該医療機関等が当該情報を取得することについて本人の同意があったものと解されます。」という解説がありました。解説を聞いて、学生たちも納得の表情をしていました。

今回授業を取材させていただき、私自身、答えるのがなかなか難しいと思うものが多く、普段からの学びが大切なことを改めて実感しました。

(記者：広報部赤嶺)



5/15

臨床工学学科

## 臨床実習頑張っています!!

5月15日から、臨床工学学科3年生が高知県内10施設において臨床実習を行っています。

学校生活とは異なり、現場で学ぶ事がたくさんある貴重な機会です。

皆さん、最後まで頑張ってください!

(記者：広報部赤嶺)



6/10

医療情報学科

臨床工学学科

## 医療体験講座を開催

6月10日に中村高等学校の1、2年生が本校に来校し、医療体験講座を実施しました。

当日は、貸切バスの中で医療職全般の現状についてのオリエンテーションを受け、来校後は医療事務と臨床工学技士の仕事内容の簡単な講話を聞いた後、ECMO（エクモ）や人工心肺装置・除細動器などについて説明を受けました。

その後、ブースに分かれて電気メス・穿刺・心電図モニター・血圧測定・人工透析・医療費計算などの体験をしました。

体験中は「この値はどういう意味ですか?」「これは、どうしてこういう順番なんですか?」など、活発に質問が出て、一つひとつ教員が回答しながら進みました。

今回の医療体験を通して、参加した生徒の皆さんが進路を考えるきっかけにしてもらえたのではないのでしょうか。

医療体験講座は、高等学校へ出向いたり、本校に来校していただいたり、様々な形で今後も県内外の高等学校で開催する予定です。

(記者：広報部野村)



### mini topic

## 地域清掃を行いました!

医療情報学科と臨床工学学科の2年生が、始業前の朝の時間を使い、かるぽーとから中央公園までの道を通りながらゴミ拾いを行いました。たばこのポイ捨てや空きビンなどのゴミがとても多かったようです。

参加した学生からは「意外と楽しく取り組むことができました。」という声が聞かれました。また、終わった後には、「スッキリした気持ちになりました。」とのこと。

朝早くからお疲れ様でした!